

1 地域とともにある学校づくりの推進

目標⇨児童生徒質問紙「学校に行くのは楽しい」の項目において肯定的な回答をした児童生徒の割合
小：90% 中：85%を超える

「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」の充実に努めます

【学校運営協議会を機能させるための3観点】

- 「地域とともにある学校づくり」「学校とともにある地域づくり」をめざす
- 「熟議」「協働」「マネジメント」をもとにした実践を行う
- 委員全員の「当事者」意識を大切にした学校運営への参画を行う

筑前町CS研修会

研修や協議を実施し、町や学校の課題を共有し、解決に向けた方策を検討する。

成功体験や他者評価による自尊感情の醸成

学校運営協議会

課題解決に向け熟議し、マネジメントによる協働実践を図る。

地域



地域ボランティアによる
朝のあいさつ運動

学校



学習サポーターとの連携
による補充学習

家庭



子供の良い行動や努力を
肯定し、言葉による賞賛

※「地域・学校・家庭」の取組は一例

筑前町CS報告会

各校が取り組んだ1年間の実践を報告し合い、次年度のCSの充実につなげる。



「児童生徒が主体となる取組」「保護者等と連携した取組」を推進します



生徒会による
かがし祭りへの参加

学校運営協議会や保護者のサポートのもと、子供が主体となり、学校行事や町のイベントに参加するための企画・運営を行いました。子供が「やればできた」と実感する活動となりました。



中学生による
小学生体力測定サポート



児童が企画運営する
学校行事

小・中学校が連携して行う「協働活動」「学び合い活動」によって自己有用感が高まっています。



小・中合同学習会